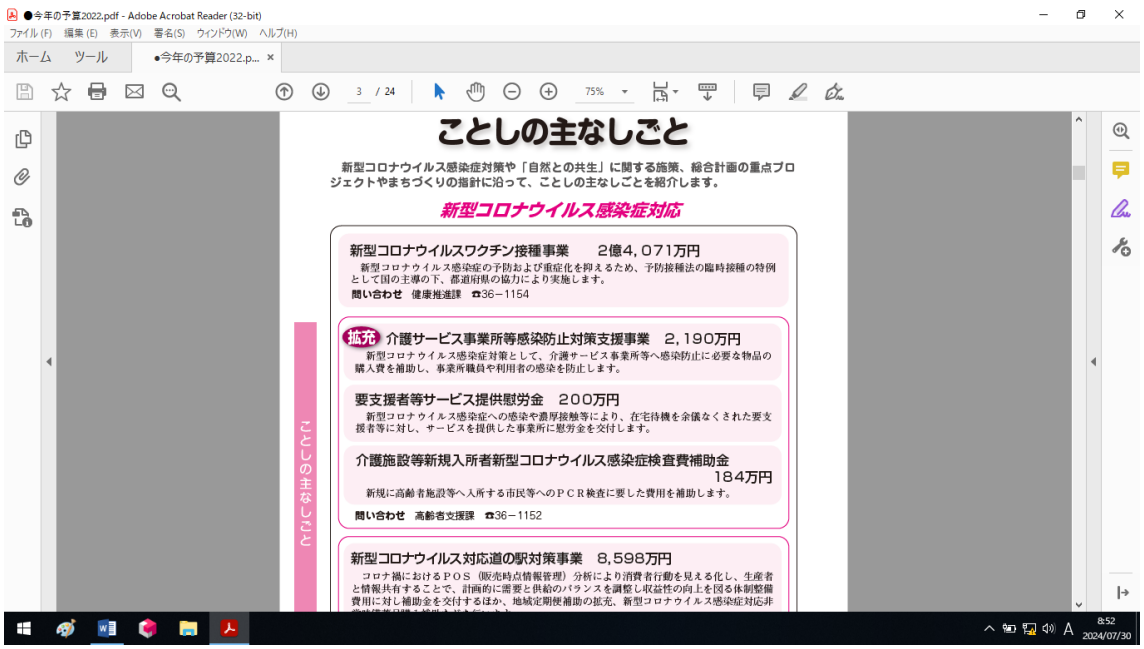
こんばんは。皆様聞こえますでしょうか。ＷＥＢ形式でのこうした懇談会の開催は初めてとなりますので、多少ギクシャクすることもあろうかと思いますけれどもお許しをいただきまして、今年度の市政懇談会を始めさせていただきます。

早速ですけれども市政の全般的なことについてご説明をさせていただきます。

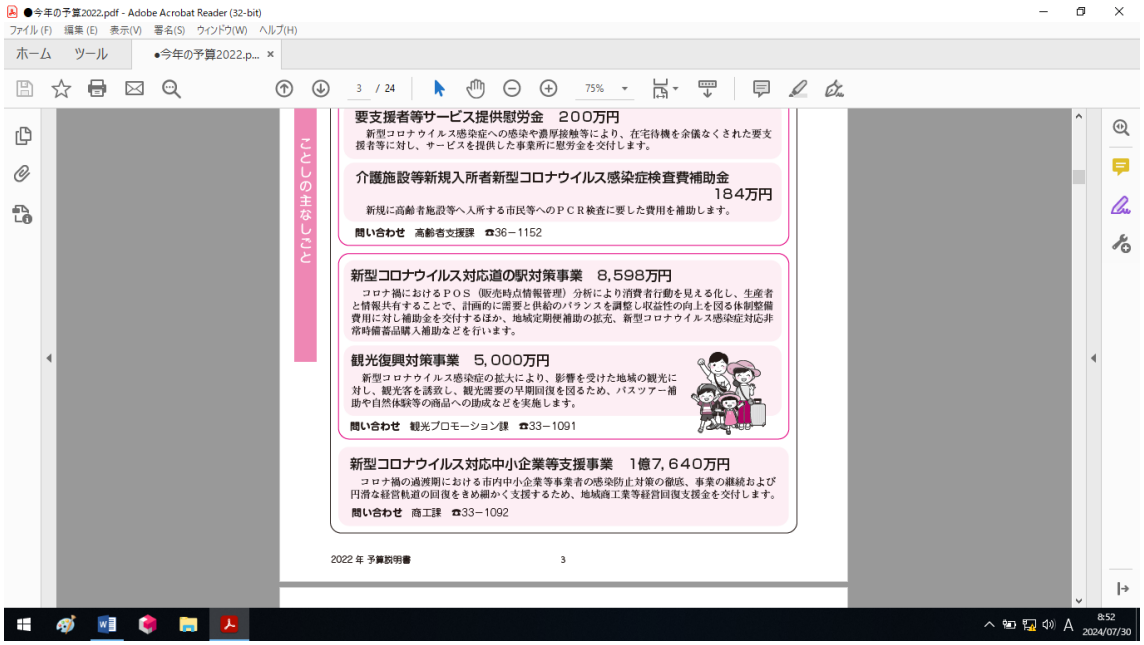
説明に当たっては、毎年度当初皆さんにお配りをさせていただいています「ことしの予算」という資料をもとに今年度事業、市の財政的な状況等を資料の主要なところを皆さんにご説明したいと思います。



今年の主な仕事ということでは、まずはコロナ感染対策ということでお話しをさせてい

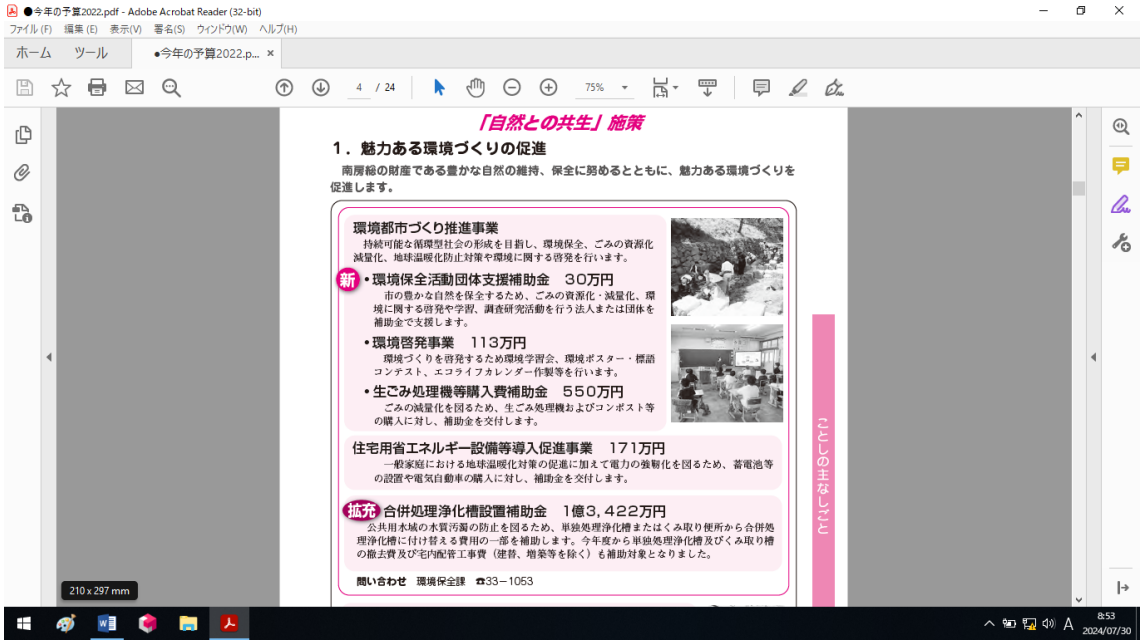
ただきますけども、コロナ対応に関しましては約３年間、国と連動して様々な事業を実施してまいりました。

皆さん方もワクチン接種をお済になっていらっしゃる方もいると思いますけれども、これまでこうしたワクチン接種ですとか、またコロナ感染禍の中で事業運営に苦慮されている介護サービス事業者の方々への支援などを実施してまいりました。また、様々な産業分野等でも色々な影響が出ておりますので、各事業者への支援といったことにも約３年の間、継続的に実施してまいりました。



道の駅に関する感染対策ですとか、観光復興対策ということで実施してきた事業ですとか、またあるいは市の特徴的なこととしては、いわゆるコロナの影響により、売り上げが大きく減少した中小企業の方々を継続的に支援していくということで、一定の要件はありますけれども、約３年に渡りまして、売り上げの減少した事業者様に最大で１事業者当り１回１００万円というような事業支援を実施しております。

現在でもこの制度は行っておりまして、未だ厳しい中小企業の方々の経営の支援をしているという状況でございます。



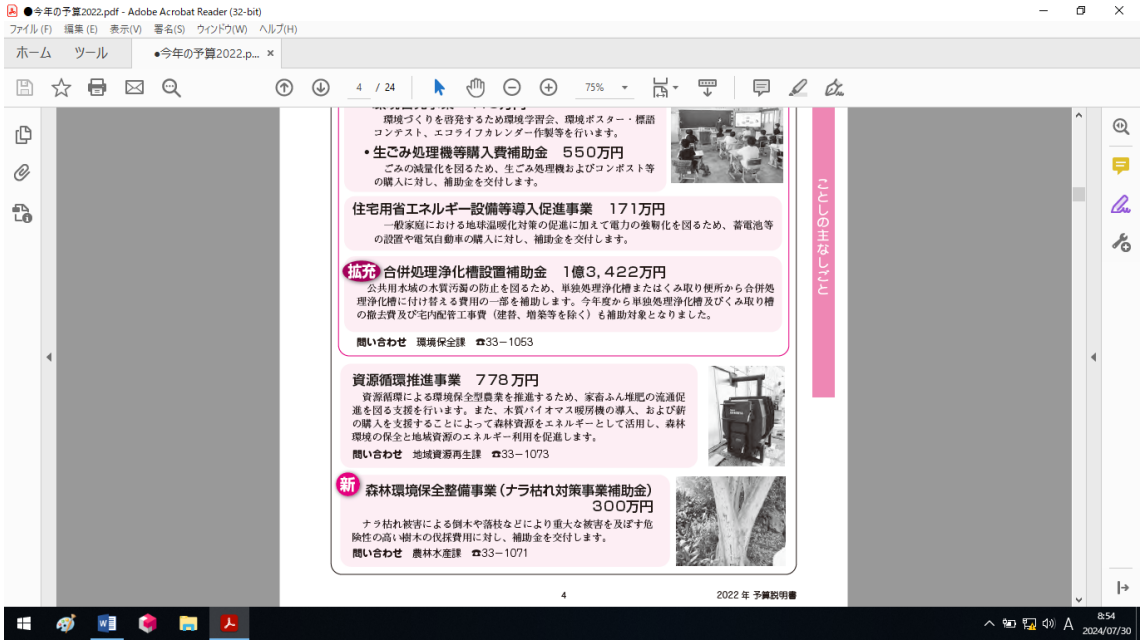
自然との共生施策ということで、私は、南房総市にとってかけがいの無い財産・自然、これを活かす、そして地元の皆様と共に、この自然を活かし、そしてまた自然の良さを共有し、またご来訪いただける方々にもその良さというものを知っていただく、まさに自然と共生していくということが、南房総市の進むべき道だと思っています。そうしたカテゴリーの中で、今どんな事業を進めているかということをまとめさせていただいています。

魅力ある環境づくりの促進いうことで、ここに記載のあるような事業を今年度進めてきています。環境活動に従事されている活動団体への支援・補助ですとか、生ゴミ処理機購入費補助などを実施しています。

生ゴミ処理機の購入補助に関しましては、ここ１～２年の中で特に力を入れています。

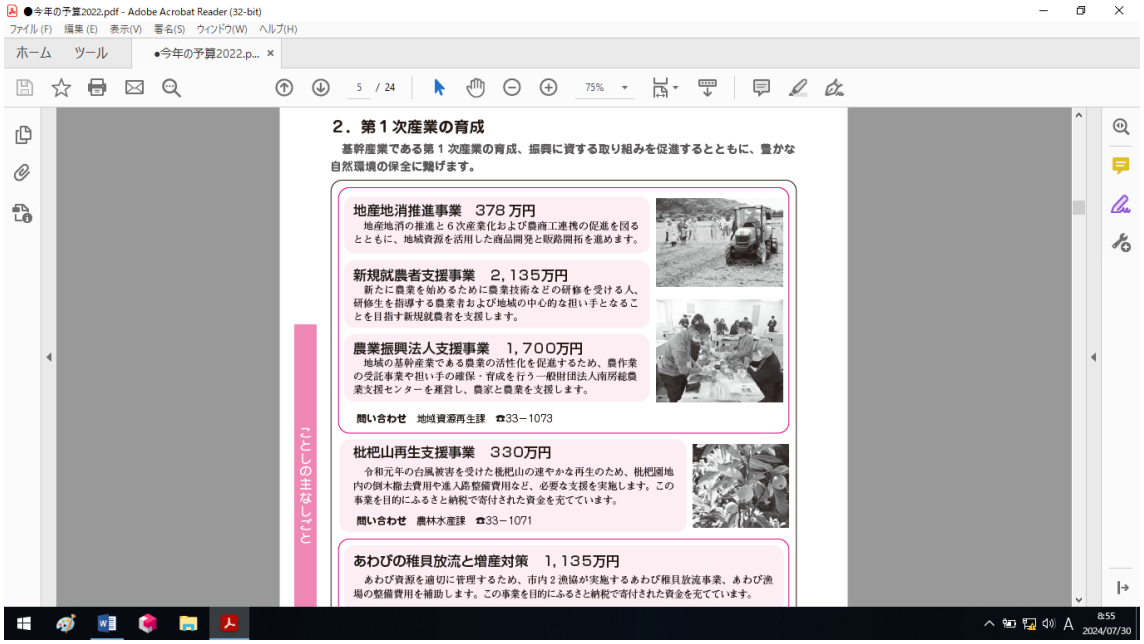
ゴミの減量化のために生ゴミ処理機、コンポスター等の購入に対し、補助金を支援させていただいており、補助率は８０％ということでかなりおもいきって応援していこうということで１０万円の限度額がございますけれども、そうした機器の購入等に支援をさせていただいております。参考までに、令和３年度、令和４年度共に１００基を超えるような購入の補助、支援をさせていただきました。

住宅用省エネルギー設備等導入促進に関しましては、温暖化対策として蓄電池等の購入をなさるご家庭等に対しまして支援をさせていただいております。また、合併処理浄化槽の補助に関しましては、単独浄化槽を合併処理槽に転換する際の補助制度というものを以前から実施しておりますけれども、今年度は補助額等も大きく拡充しまして合併浄化槽への転換補助を支援しているところでございます。



資源循環推進事業ということで、市が特に力を入れていることは、木質バイオマス暖房機の導入やそうした暖房機の燃料になる薪の購入の支援を実施しております。

森林資源を有効に活用し、そして森林資源をそれと共に保全することで、荒廃しつつある森林環境を改善してゆく、そのような目的、また、最近のさまざまな石油関係の燃料費の高騰でお困りの事業所さんもいらっしゃいますので、木質バイオマス資源を有効に活用しようということで、施設園芸農家さんの加温機の導入ですとか、一般のご家庭における住宅用の薪ストーブを導入することに対して支援をさせていただいております。この点に関しましても補助率で８０%、ご家庭の薪ストーブに関しましては、金額としては上限２０万円、施設園芸農家さんの加温機に関しましては、今年度は上限６０万円までということで支援をさせていただいております。また、先ほど申しました薪等の購入に関しましても、１㎥当り５，０００円の支援をさせていただいておりまして、皆さんにこれからも、ぜひ積極的にご利用いただければと思っています。

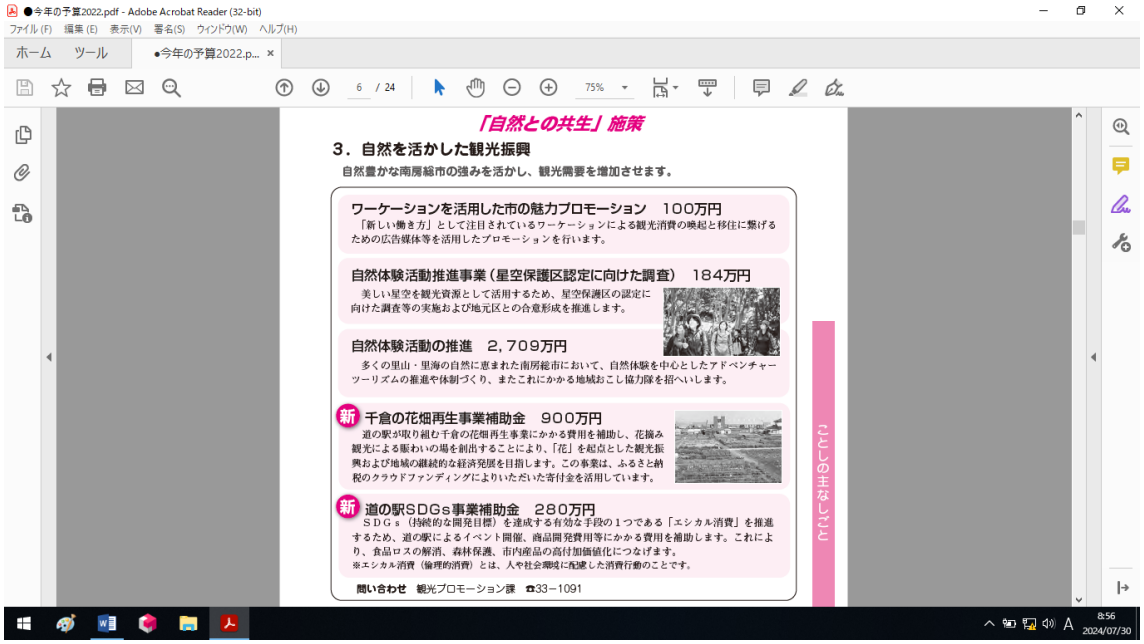


１次産業の育成ということで、地産地消の推進、新規就農者の支援事業、農業振興法人への支援などを実施しております。

新規就農者の支援に関しましては、何年に渡って継続的に実施していますが、毎年新たに５～１０人ぐらいの方が就農のための研修を受け、この地域で農業を始めるかたが増えてきています。

農業振興法人に関しましては、これも市独自の支援としてＪＡ安房さんとお互いに出資した新たな法人、一般財団法人南房総農業支援センターという機関を設立しまして、様々な農作業等を受託し、農作業の支援を継続的に実施しております。

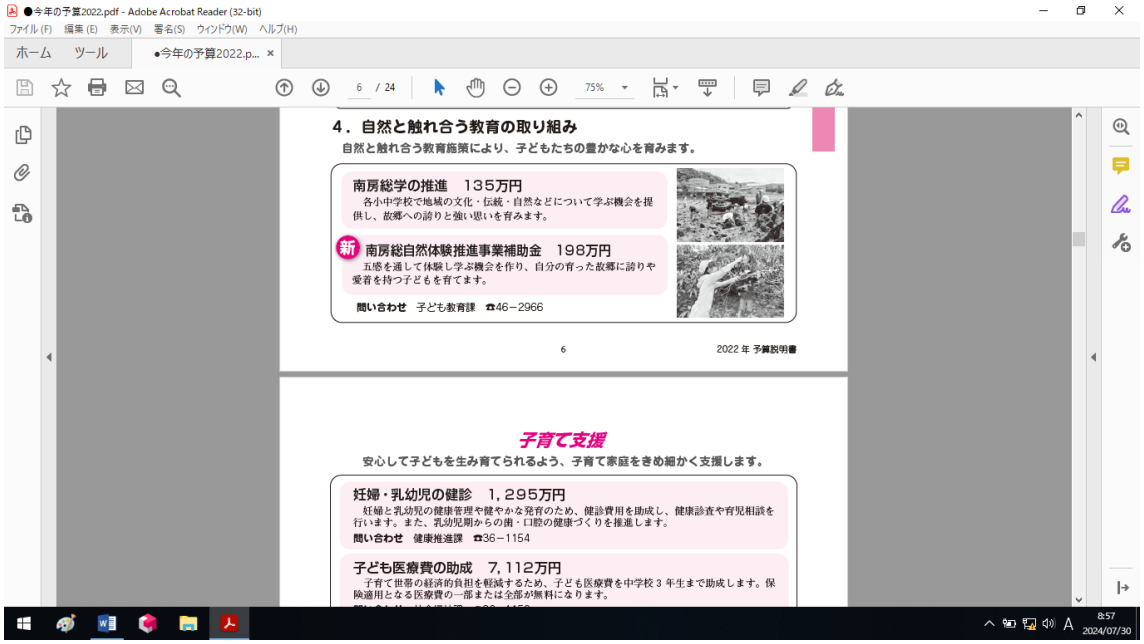
枇杷山の再生事業、また漁業に関しましては、あわびの稚貝放流、輪採型あわび漁場の造成、漁業後継者の育成事業など継続的に取り組んでいます。



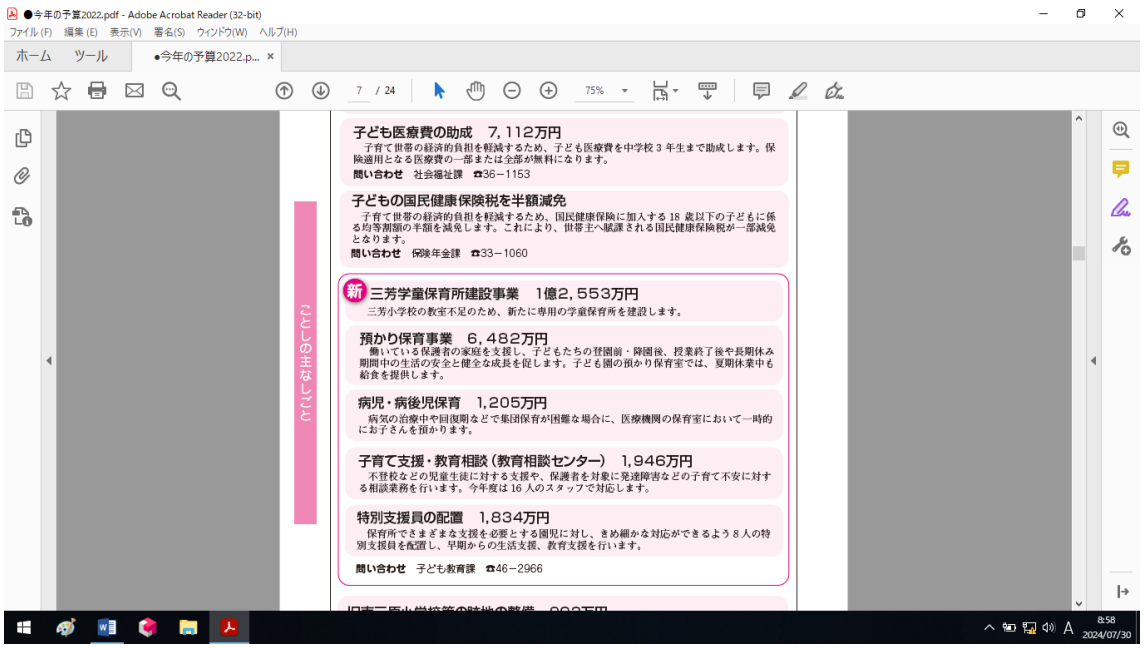
観光的な部門になりますが、最近でワーケーションというような新しい過ごし方、働き方ということで注目されており、ワーケーション事業にも本市も取り組んでおりまして、市としての魅力を伝えるための宣伝事業、プロモーション事業に取り組んでいます。また、自然環境を活かすということでは、星空保護区という制度があり、世界的な規模で星空保護区を認定している団体があるのですが、本市もそうした団体から、とても夜空のきれいな地域だということでお話しをいただきまして、結果として和田町の上三原地区が、星空がとてもキレイに見えるということで、ご推薦をいただき、現在、星空保護区の認定を受けたいということを考えております。

千倉の花畑再生事業に関しましては、生産農家の方々の高齢化により花畑が減少しつつある中で、クラウドファンディングにより花畑再生事業に関心のある方々から寄付をいただきまして、そのお金を財源とした千倉地区の千田の花畑の再生事業に取り組んでいるところでございます。

道の駅 SDGS 事業補助金は、最近特に関心を集めているエシカル消費といったことをこれから南房総市の中でも取り組んでいこうと考えています。消費活動の中で消費者の方が、そこで提供されている商品やサービスが、人権に配慮されて製造された製品なのか、環境問題に配慮された上で作られているサービスなのか、そんなことを判断した上で消費をしようという社会の抱えている課題の解決に結びつけていくような消費活動の重要性が高まっています。SDGS という言葉にもありますけれども、こうしたエシカル消費というものを本地域でも伸ばしていこうということで、主には道の駅の中でエシカル消費に対応できるサービスを展開していこうとしているところです。



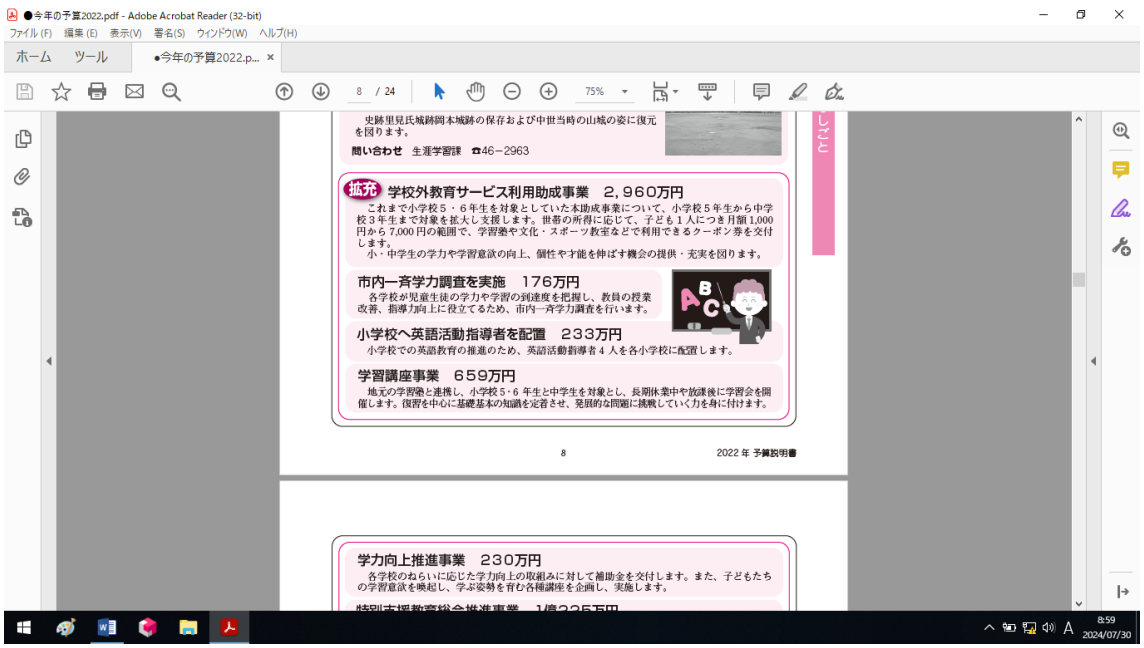
教育分野におきましては、南房総学の推進、南房総自然体験推進事業ということで、子ども達にも南房総の自然環境を活かした様々な体験・経験してもらいたいということで、市への思いをこれからも育んでいきたいと考えています。



子育て支援に関してですが、少子化も進んでいる中で、子育て支援も重要な分野だと考えておりまして、様々な事業に取り組んでおります。妊婦・乳幼児の健診、子ども医療費の助成事業ということで、今年度は子ども医療費の助成を中学３年生までを対象にしておりますけれども、この事業に関しましては来年度に向けては高校生まで広げていきたいということで本市としては考えているところでございます。

国民健康保険税に関しましては、保険税の税額を計算する中で、均等割額というものがありますが、均等割額を１８歳以下のお子さんがいる世帯に関しましては半額にしようということで本市独自に子育て家庭の経済的な支援をしているところでございます。

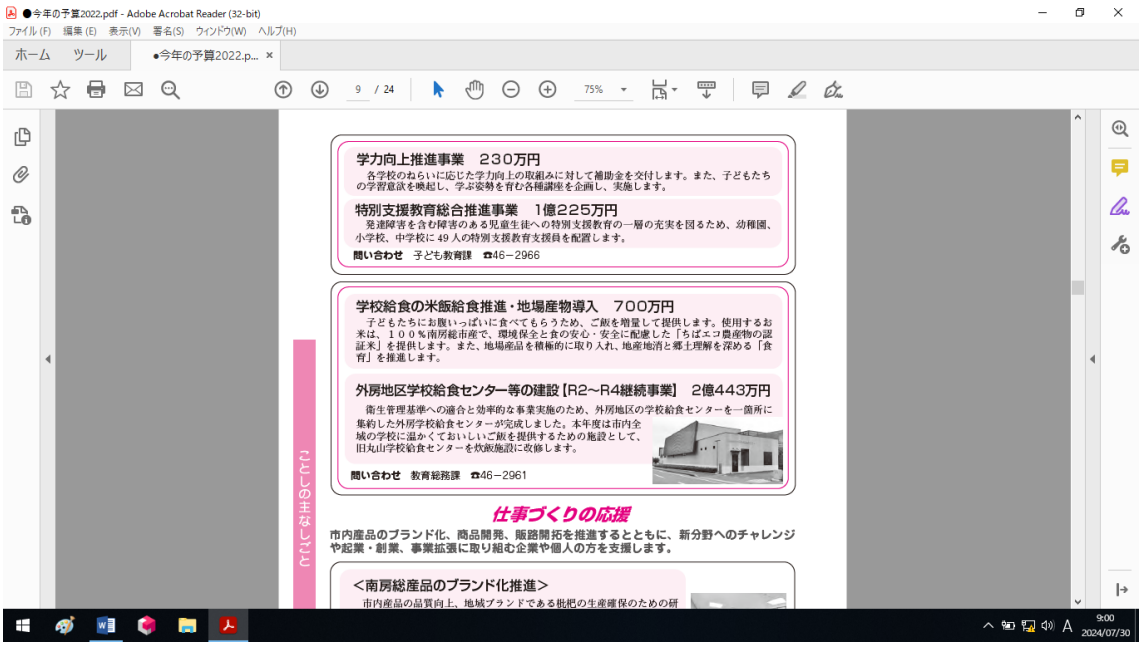
子育て支援のための教育相談や特別支援員の配置についても、本市が独自に力を入れて取り組んでいるところでございまして、教育相談業務に関しまして今年度は１６人からのスタッフを配置して不登校等の児童生徒・ご家庭に対する様々な支援、相談業務にあたっています。特別支援員の配置に関しましては、例を挙げれば発達障害等の様々な特別な支援を必要としているお子さん方が増えてきている状況もありまして、保育所、幼稚園、小学校、中学校におきまして、本市独自にお子さん方への支援に対応するために特別な支援員というものを配置しているという事業でございます。また、施設の老朽化に伴う各校舎の改修工事にも取り組んでおります。



学校外教育サービス利用助成事業に関しましても本市独自の取り組みであり、小学校５、６年生、今年度からは中学３年生までに対象を拡大いたしまして、子供たちが習い事をする際の、勉強ばかりではなくてスポーツ活動、文化活動を習う際の月謝にあたる部分を支援させていただこうということで各ご家庭の収入状況にもよりますけれども１ヶ月当り１０００円～７０００円までの支援をさせていただきまして、各ご家庭によって経済的な違いがございますけれども等しく子ども達が学びたいということを、ご家庭の経済環境に左右されることなく、子ども達の学ぶ環境を支援していこうということで、本市独自に取り組んでいるところでございます。

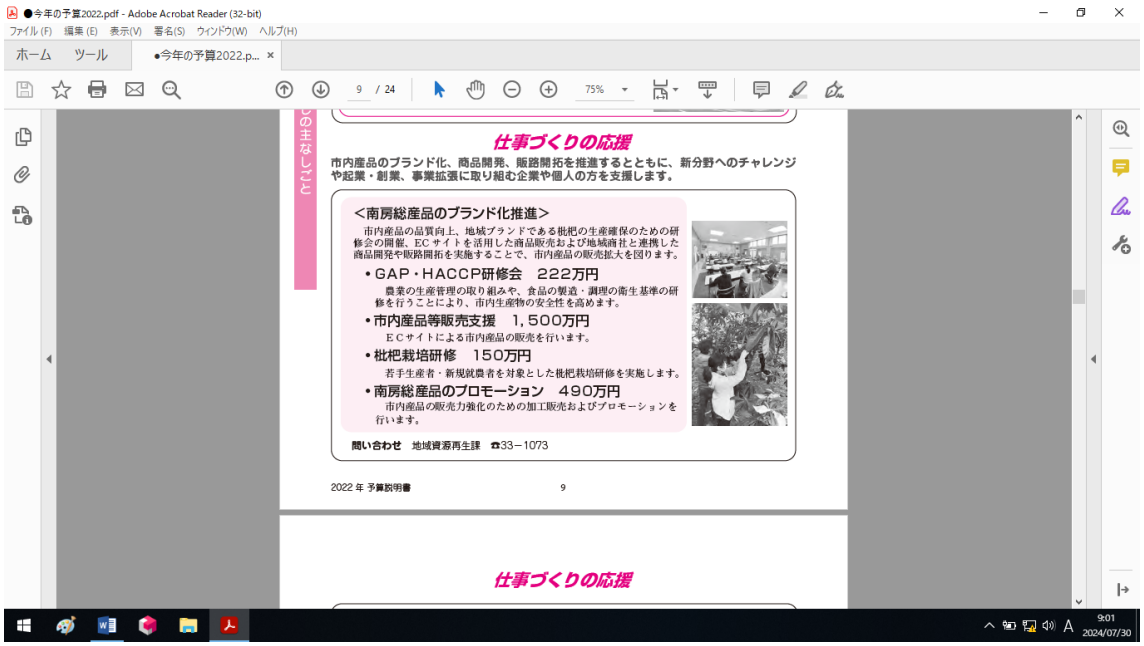
市内の一斉学力調査についても、国の学力調査というものが一律に行われておりますが、本市独自に学力調査を行っておりまして、課題を発見し子ども達の学力を向上しようということで、本市独自に学力調査を実施しております。

学習講座事業に関しましても、本市独自に実施しておりますけれども、小学校５～６年生や中学生を対象として、放課後や夏休みなどに学習塾と連携してさまざまな学習活動の支援を市独自に実施している事業として学力向上に取り組んでいます。



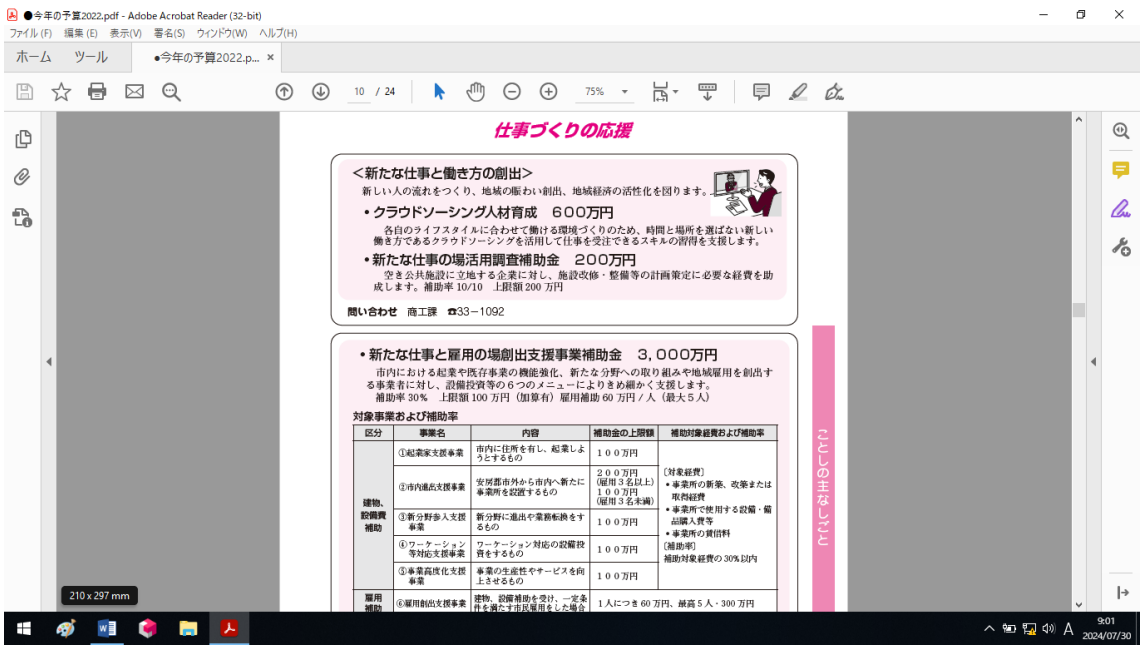
特別支援教育総合推進事業は、先ほど申し上げた保育園や幼稚園、小学校、中学校の教育現場に本市独自に特別支援教育のための支援員を配置している事業です。

学校給食については、本市は１００％米飯給食を推進しており、和食を中心とした給食を提供することにより、できる限り使用する食材につては地元の食材を活用し、和食を通じた日本食の良さ、また地域の食材が生産される過程等を食育の中で学んでいくことにより理解を深める、そしてまた食を通じた健康管理なども子ども達を通じて各ご家庭にも理解を深めていただけたらという思いで米飯給食を本市の特徴ある取り組みとして進めています。



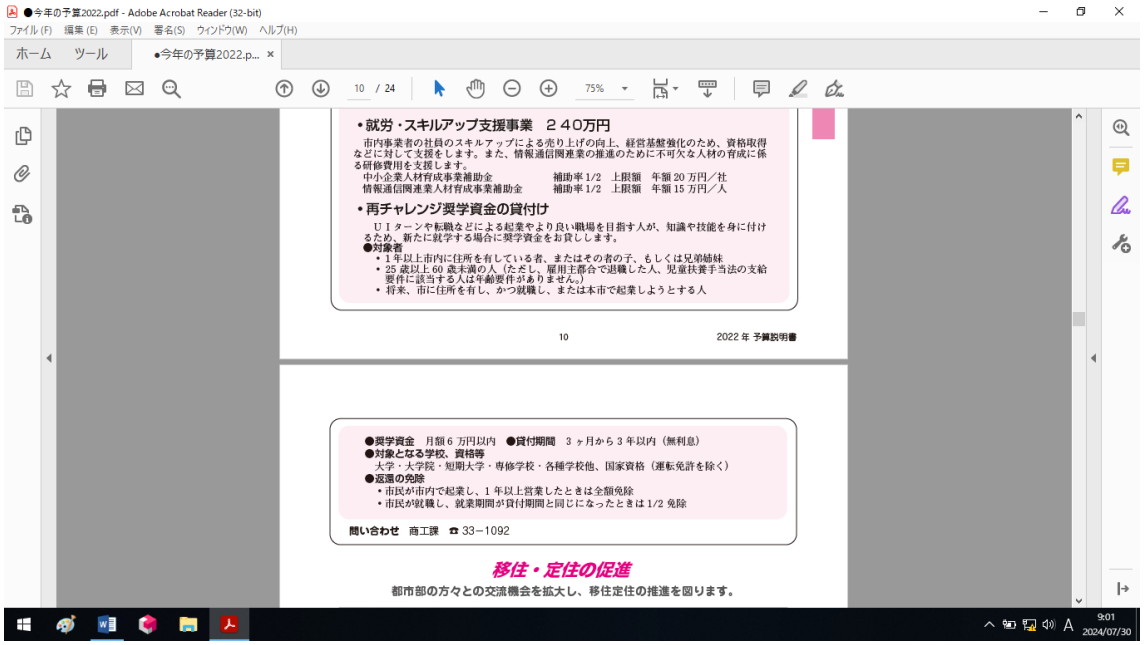
仕事づくりということで、南房総市産品のブランド化を進めており、様々は産品のブランド化、６次産業化ということで、様々な６次産品開発の支援等もしています。

ＩＴ関係の分野に関しましても、人材育成を進めていこうということで、クラウドソーシング、ＩＴを活用した仕事の受発注に対応するための人材を育成しようというような取り組みを進めています。

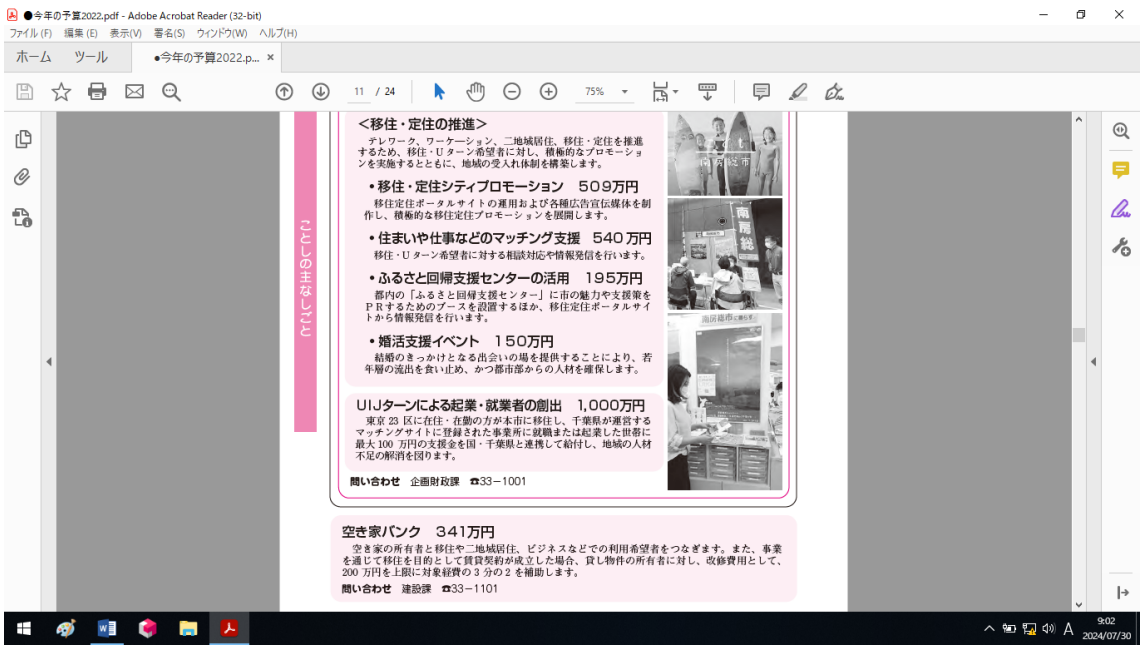


新たな仕事と雇用の場創出支援事業に関しましては、本市に移住して来られて、新たに事業を起業したいとか、新たに設備投資をして事業を拡張したいとか、そうした事業者の方々に対しての設備投資の支援、雇用される方々の人件費補助をしていく中で、新たな雇用の拡

大、そしてまた、新たに一次産業を興そうという方々を少しでも応援していこうと数年来実施しています。今年度の実績として、大体１年間に２０の事業者さんからご利用いただいておりまして、毎年このくらいの事業者さんから制度をご利用いただいているところでございます。



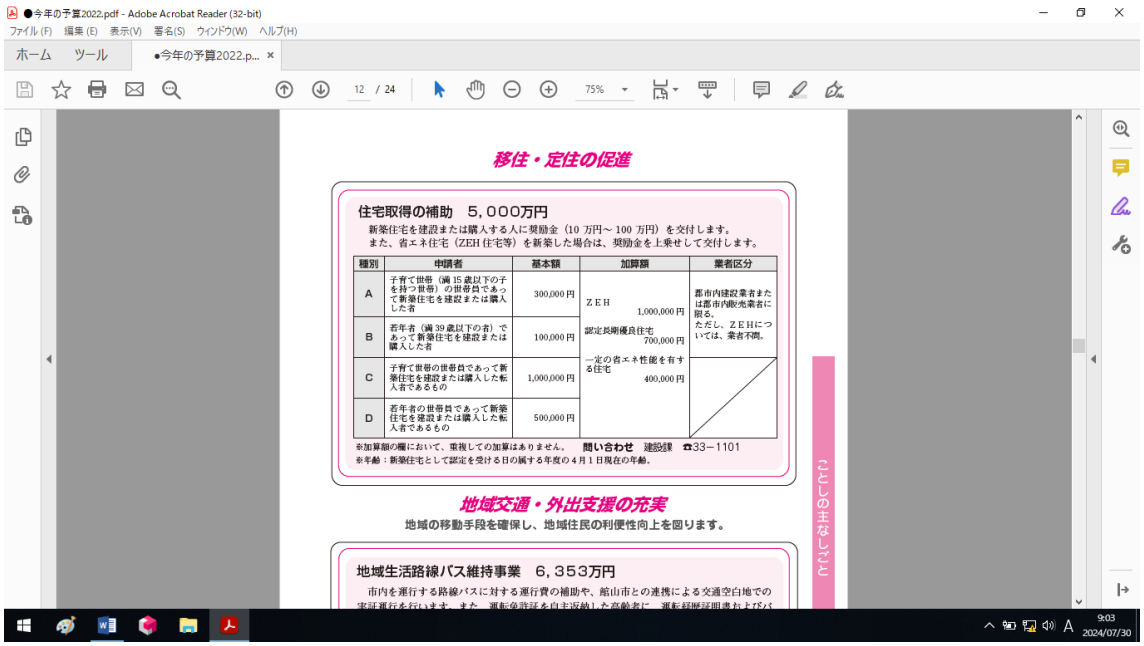
就労・スキルアップ支援事業というのは、職員のスキルアップによって、事業所の業績を伸ばしていこうとする意欲のある事業者さんの支援を本市独自に実施しており、人材育成のための様々な講座を受講する場合の費用の助成を実施しています。



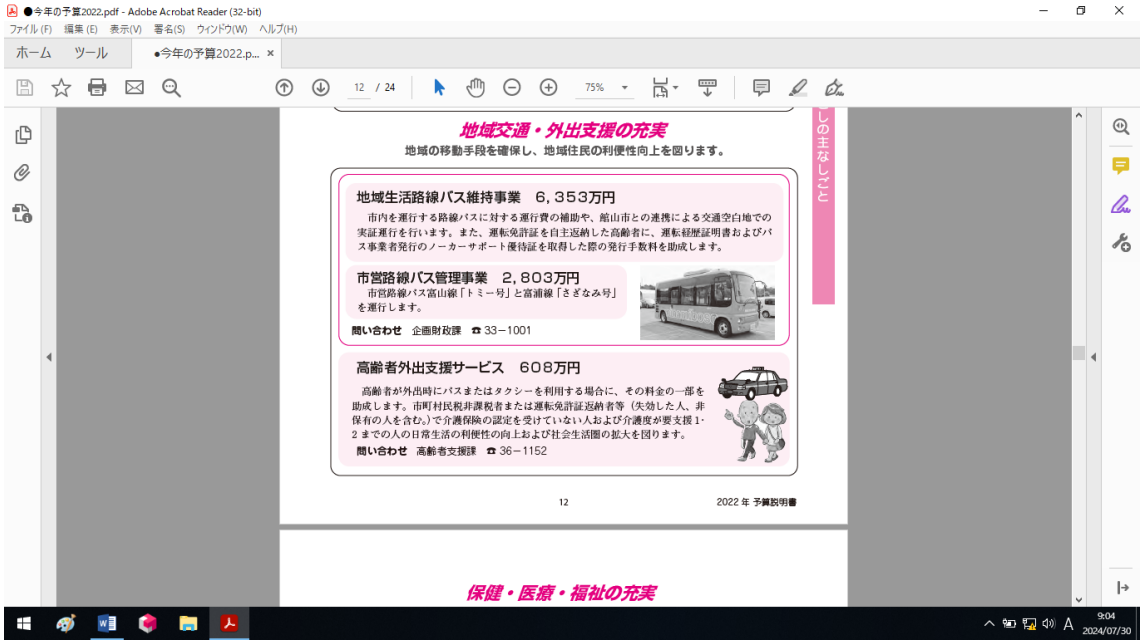
移住定住の促進ということで、本市にとっても大きなテーマであり、移住定住してくださ

る方を増やしていこうと本市の魅力を伝えていく事業をしています。また、ＵＩターンなどで、新たにこの地域で起業･就業してくださる方への支援などをも充実させています。

　空き家バンクに関しましも、数年前から空き家を貸してもいい方、そして空き家を借りたい方をマッチングしていく、そうした事業を以前から実施していまして、多くの方々に利用していただいています。

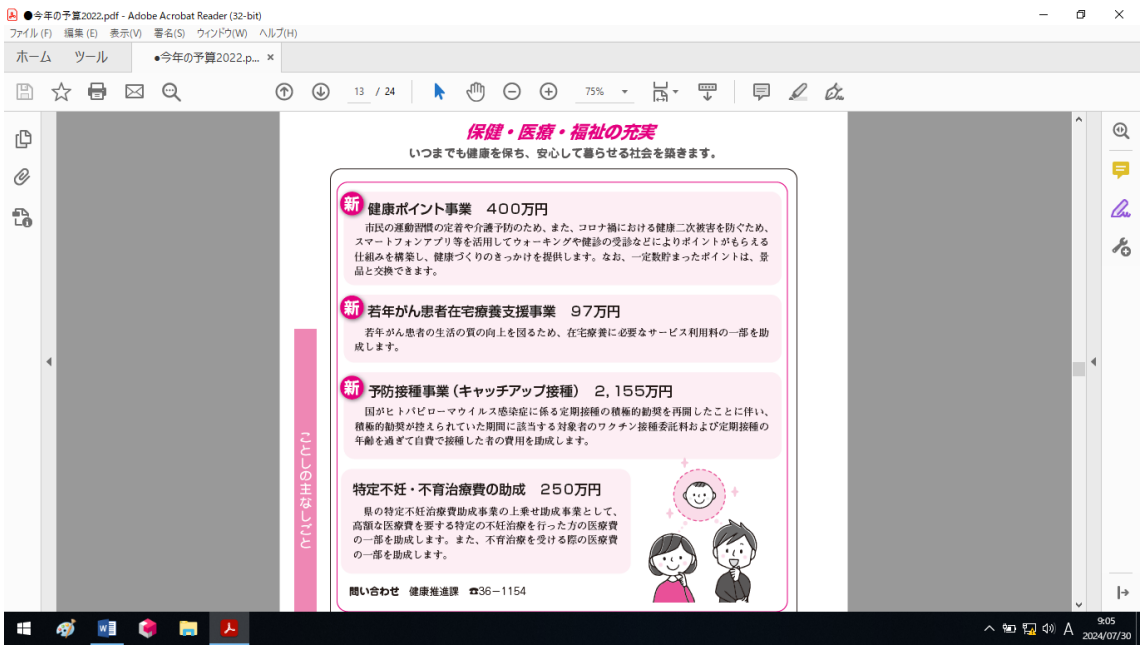


　住宅取得に関しましても、新たにこの地域で住宅を建設したいという方々に対して、かなり強力にバックアップをさせていただいており、制度的には若年層の方々をターゲットにしていますけれども、この点に関しましても移住してくださる方々が、かなり多く利用していまして１年で３０件前後の利用があります。



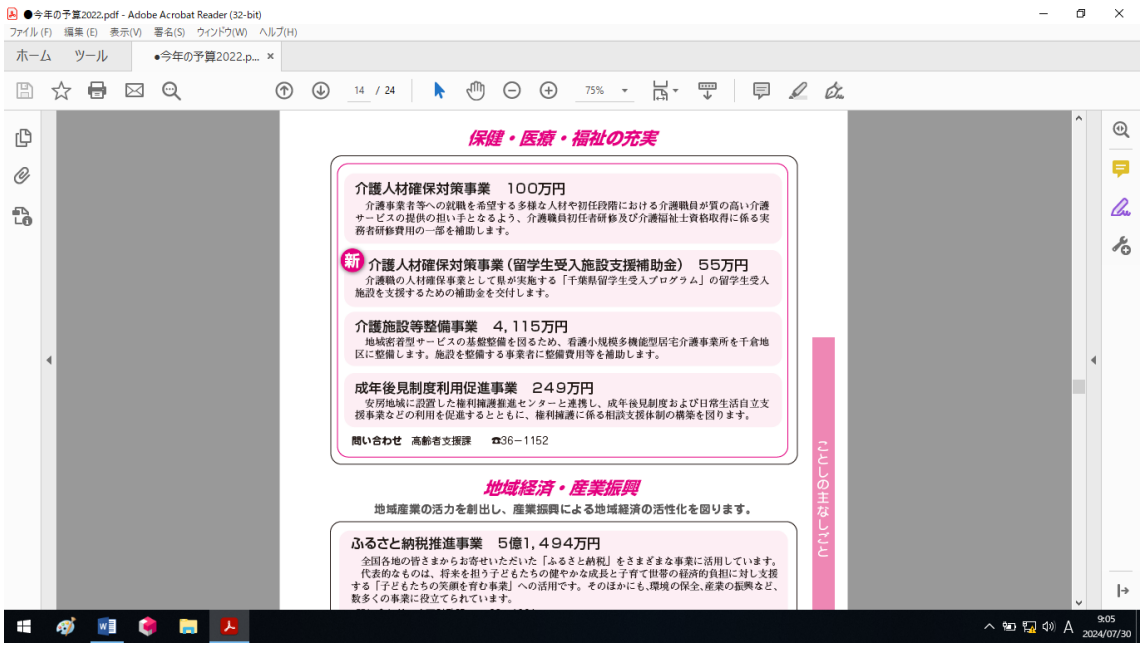
地域交通･外出支援の充実としましては、この地域にとって必要な交通インフラを維持・充実させていくための事業を実施しています。

高齢者の外出支援サービスに関しましては、高齢化と共に外出が不自由な方も増えてきておりますが、バス・タクシーを利用する際の利用料助成をさせていただいておりまして、高齢者の方々の外出支援サービスについて本市独自に実施しています。

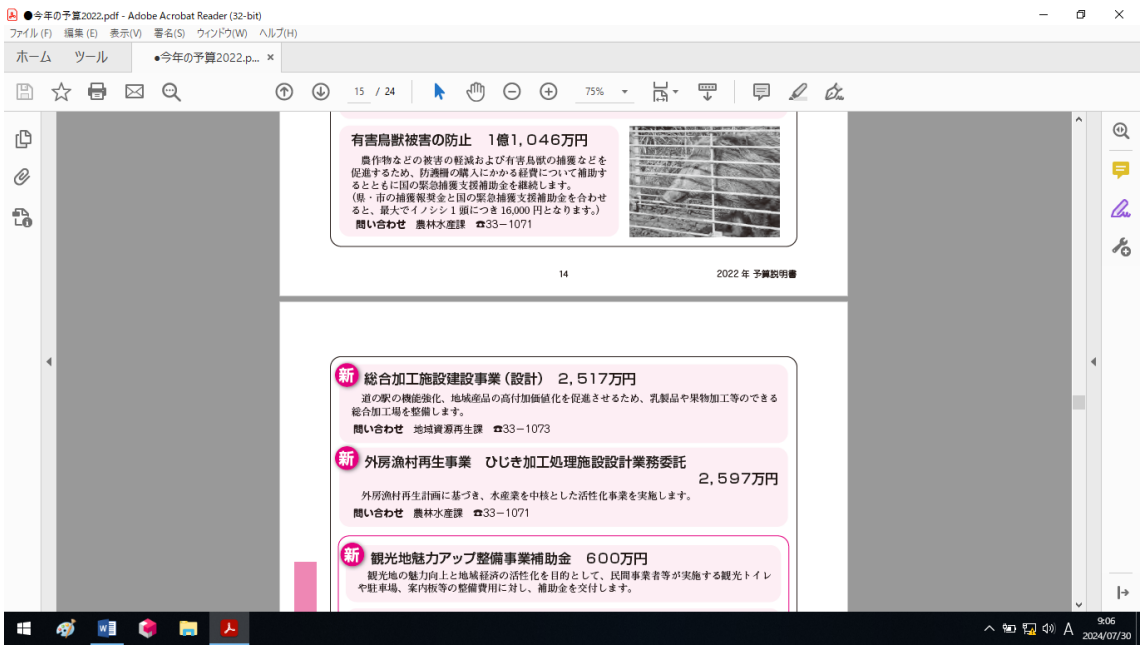


保健・医療・福祉の充実ということでは、今年度から健康ポイント事業ということで、アプリを活用しての健康増進をいた方にポイントを付与させていただきまして、インセンティブを皆さんにお持ちいただく中で、健康づくりに励んでいただける環境整備をしていき

たいと思っています。
　若年がん患者在宅療養支援事業に関しましても、本市独自の事業としてスタートしていますけれども、介護保険の対象にならないようながん患者の方々で、在宅において療養生活をしている方々、かなり生活に支障をきたすような方々もいらっしゃるのが実状でございまして、少しでもそういった方々の在宅療養を支援していこうということで、金額は少ないですが支援をおこなっています。



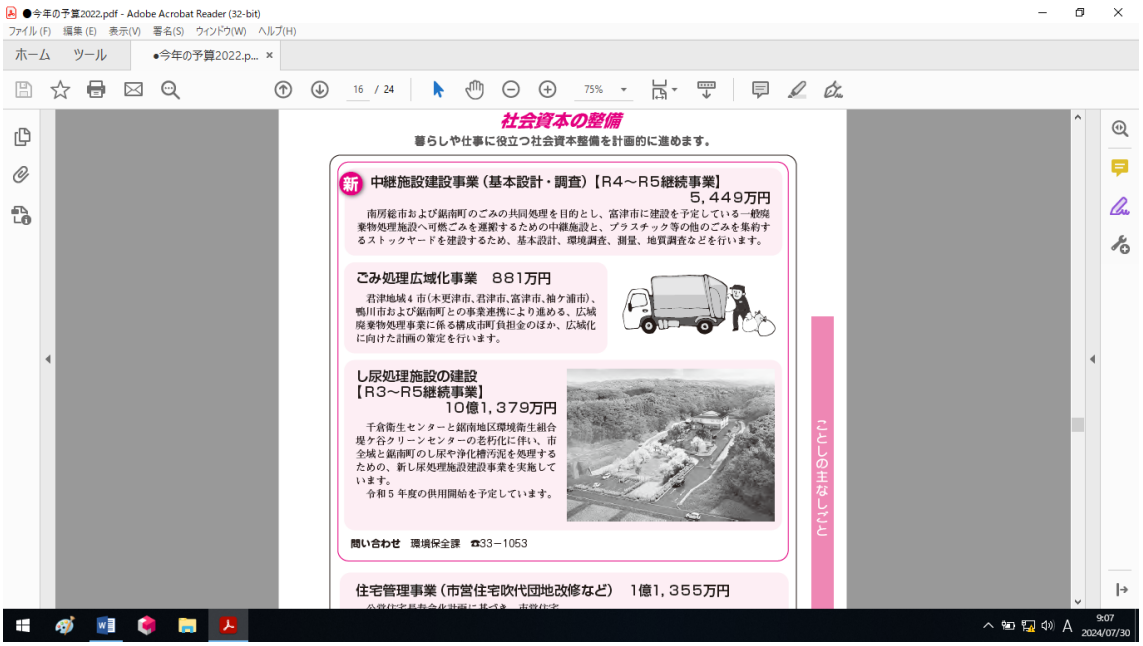
　保健・医療・福祉の充実ということで、介護人材の育成などにも取り組んでいます。



　有害鳥獣被害の防止ということで、イノシシ・サルの被害も増えておりますが、中々根本

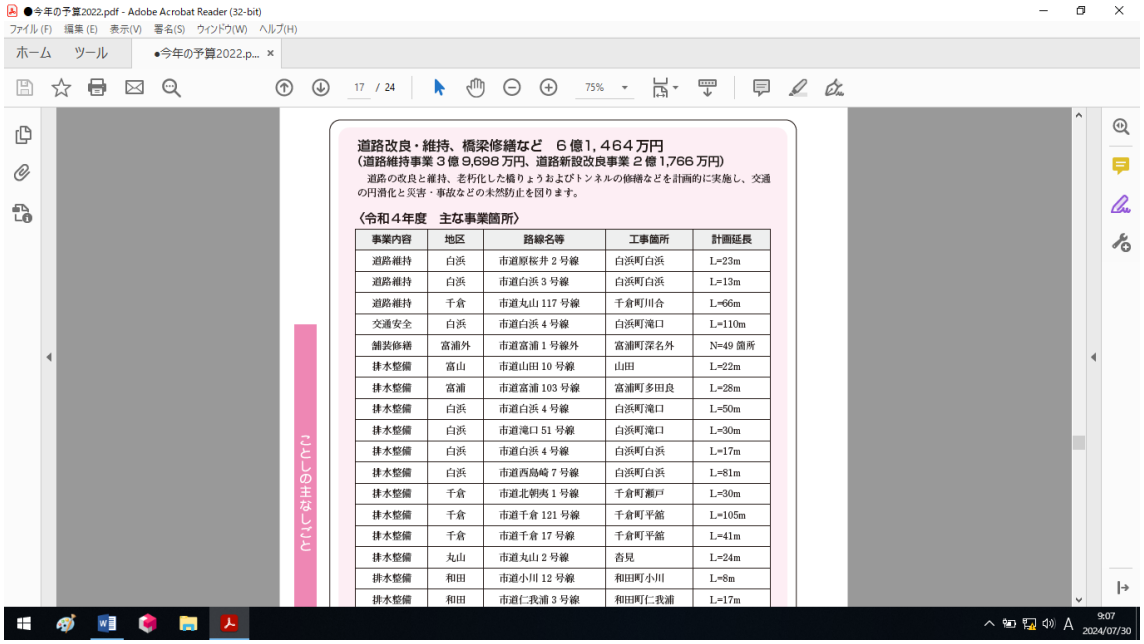
的な対策がなく、お困りの方が多いことも承知しておりますけれども、引き続きこれからも、住民の方々と協力し合いながら対策に取り組んでいきたいと考えております。また、観光事業の育成ということで、総合加工施設の建設に着手しているところでございます。

外房漁村再生事業ということで、東安房漁業協同組合が取り組もうとしている、ひじき加工処理施設の建設に対しての補助をこれから実施してまいります。



社会資本の整備ということでは、現在、君津郡市と安房２市１町共同でゴミ処理場の建設に向けた取り組みを進めておりまして、現在計画的に進めている状況でございます。

し尿処理施設の整備に関しましては、千倉衛生センターと鋸南地区のし尿処理施設を統合し、三芳村の御庄地区に施設を整備しておりまして、来年の令和６年１月頃に稼働開始する予定でございます。



道路改良・維持、橋梁修繕など　６億１，４６４万円
（道路維持事業３億９,６９８万円、道路新設改良事業２億１,７６６万円）

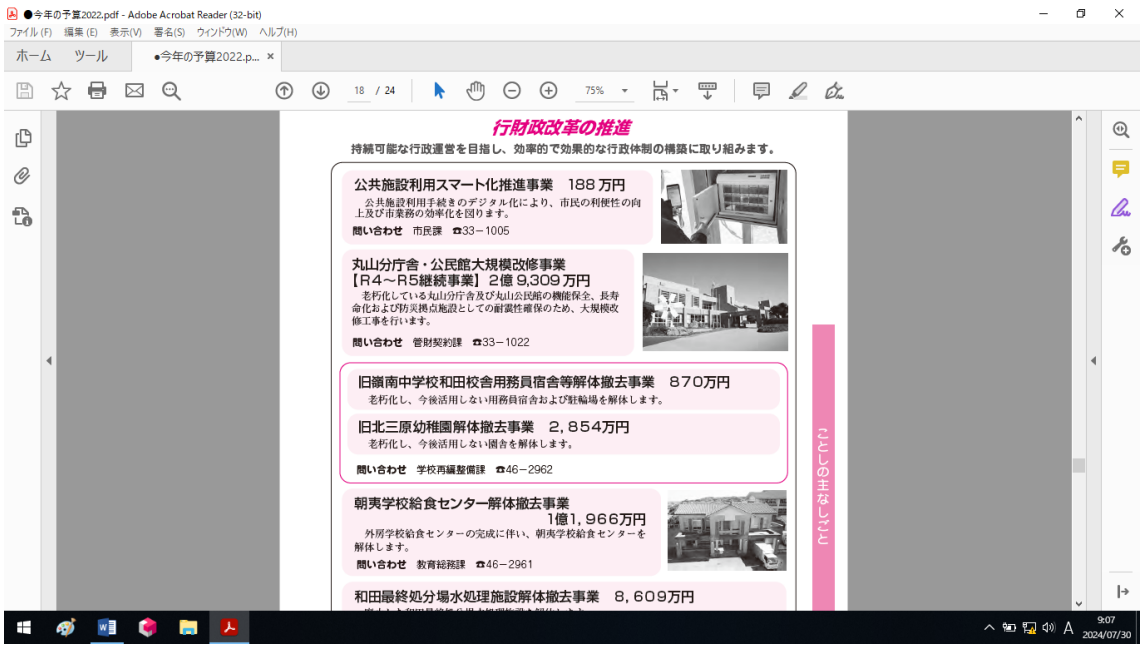
道路の改良と維持、老朽化した橋りょうおよびトンネルの修繕などを計画的に実施し、交通の円滑化と災害・事故などの未然防止を図ります。

〈令和４年度　主な事業箇所〉

事業内容	地区	路線名等	工事箇所	計画延長
道路維持	白浜	市道原桜井２号線	白浜町白浜	L=23m
道路維持	白浜	市道白浜３号線	白浜町白浜	L=13m
道路維持	千倉	市道丸山117号線	千倉町川合	L=66m
交通安全	白浜	市道白浜４号線	白浜町滝口	L=110m
舗装修繕	富浦外	市道富浦１号線外	富浦町深名外	N=49 箇所
排水整備	富山	市道山田10号線	山田	L=22m
排水整備	富浦	市道富浦103号線	富浦町多田良	L=28m
排水整備	白浜	市道白浜４号線	白浜町滝口	L=50m
排水整備	白浜	市道滝口51号線	白浜町滝口	L=30m
排水整備	白浜	市道白浜４号線	白浜町白浜	L=17m
排水整備	白浜	市道西島崎７号線	白浜町白浜	L=81m
排水整備	千倉	市道北朝夷１号線	千倉町瀬戸	L=30m
排水整備	千倉	市道千倉121号線	千倉町平舘	L=105m
排水整備	千倉	市道千倉17号線	千倉町平舘	L=41m
排水整備	丸山	市道丸山２号線	吉見	L=24m
排水整備	和田	市道小川12号線	和田町小川	L=8m
排水整備	和田	市道仁我浦３号線	和田町仁我浦	L=17m

ここも主なしごと

道路改良・維持、橋梁修繕などに関しましては、多くの行政区さんから、色々な道路整備に関する要望が毎年寄せられますけれども、そうしたご要望にお応えする様々な事業などが主になっております。



行財政改革の推進

持続可能な行政運営を目指し、効率的で効果的な行政体制の構築に取り組みます。

公共施設利用スマート化推進事業　188万円

公共施設利用手続きのデジタル化により、市民の利便性の向上及び市業務の効率化を図ります。

問い合わせ　市民課　☎33－1005

丸山分庁舎・公民館大規模改修事業
【R4～R5継続事業】２億９,３０９万円

老朽化している丸山分庁舎及び丸山公民館の機能保全、長寿命化および防災拠点施設としての耐震性確保のため、大規模改修工事を行います。

問い合わせ　管財契約課　☎33－1022

旧嶺南中学校和田校舎用務員宿舎等解体撤去事業　870万円

老朽化し、今後活用しない用務員宿舎および駐輪場を解体します。

旧北三原幼稚園解体撤去事業　２,８５４万円

老朽化し、今後活用しない園舎を解体します。

問い合わせ　学校再編整備課　☎46－2962

朝夷学校給食センター解体撤去事業
１億１,９６６万円

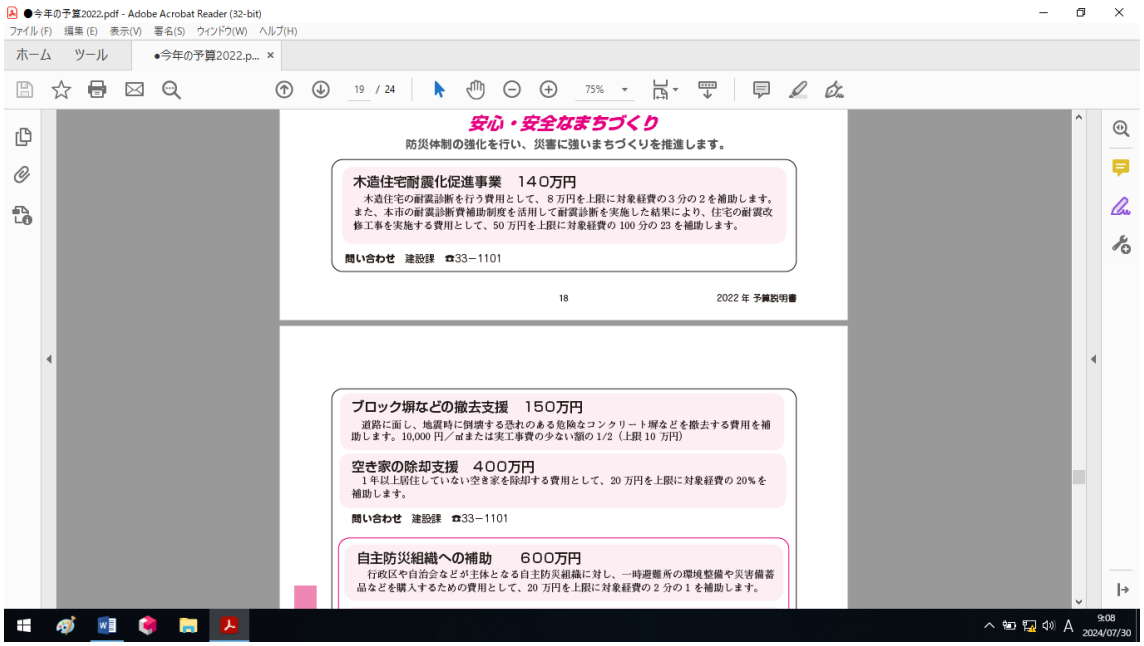
外房学校給食センターの完成に伴い、朝夷学校給食センターを解体します。

問い合わせ　教育総務課　☎46－2961

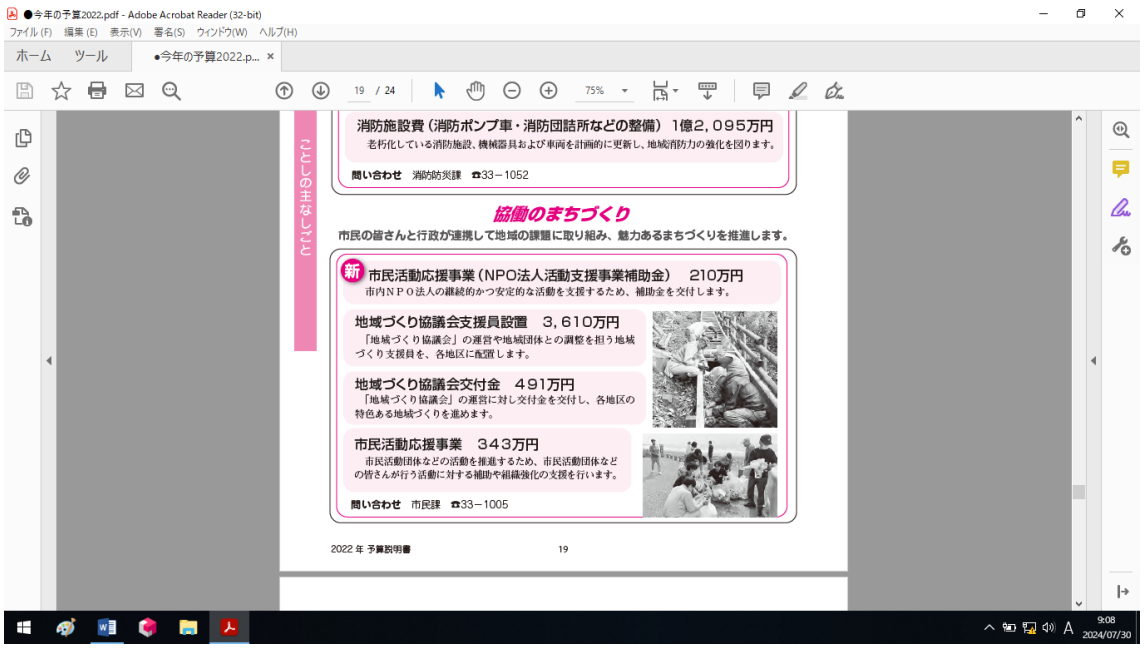
和田最終処分場水処理施設解体撤去事業　８,６０９万円

ここも主なしごと

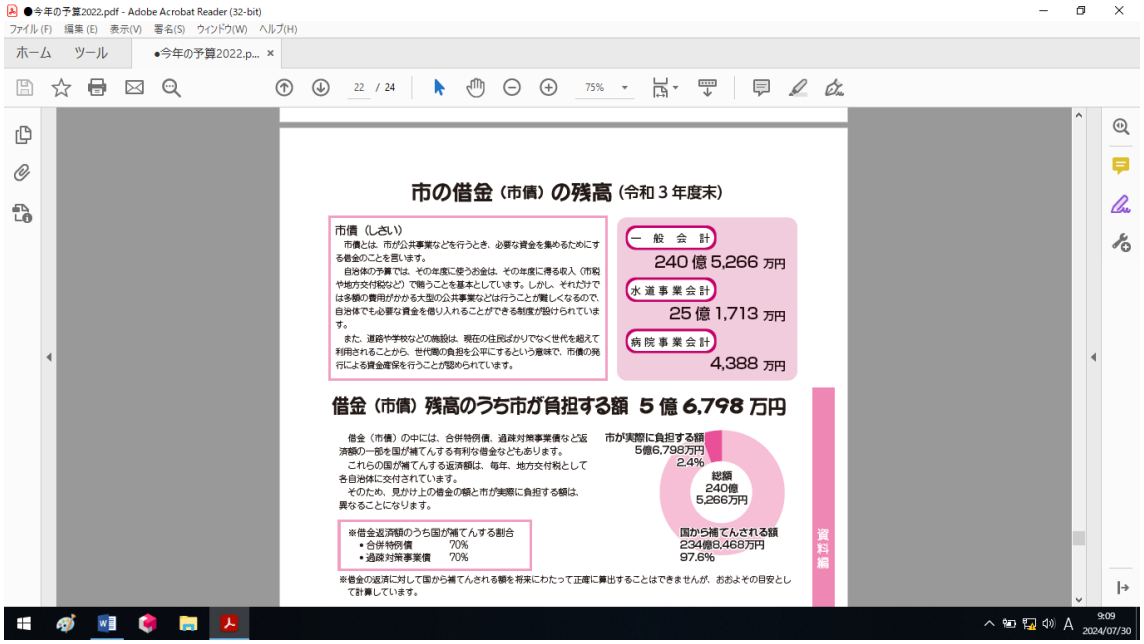
行政改革ということでは、少しでも行政の無駄を省き効率的な行政展開を図る、また、市民の皆さんにとって、より利便性の高い行政サービスを展開できるような行政改革の推進ということで、継続的に取り組んでいるところでございます。



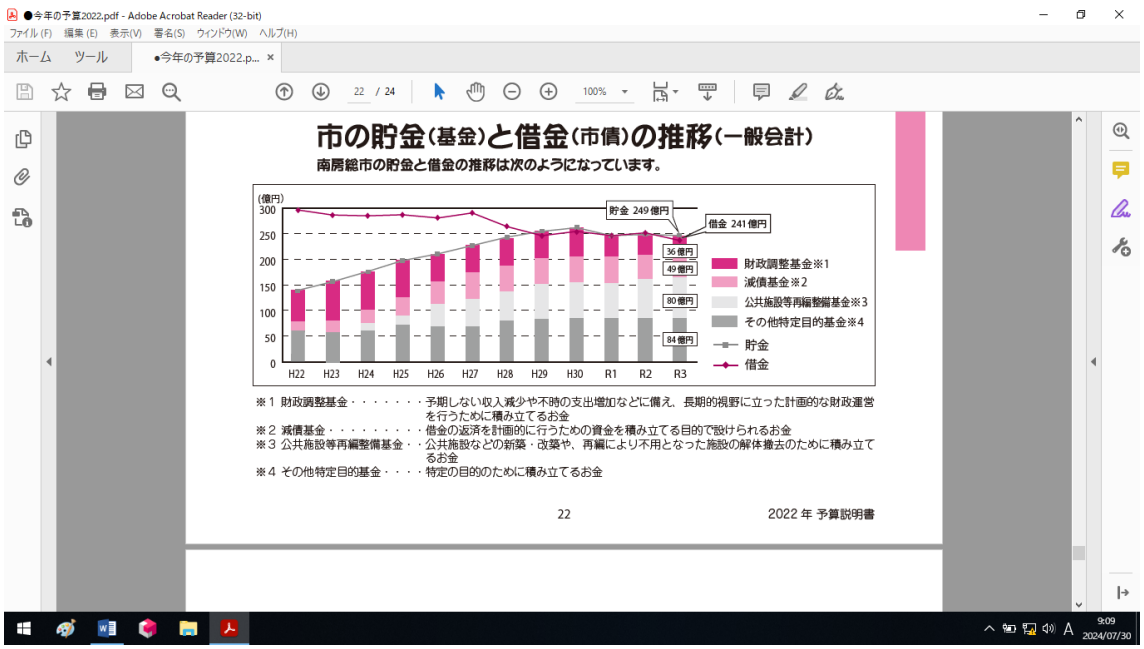
安心安全なまちづくりとして、防災対策、災害への備えということで様々な事業に取り組んでいまして、例えば各行政区さんが取組もうとされる自主防災組織活動に対しまして、２０万円を上限に補助金を数年前から実施しています。



協働のまちづくり事業では、市民のみなさんと、市が抱える様々な地域の課題を解決していこうということで、継続して取り組んでいるところでございます。



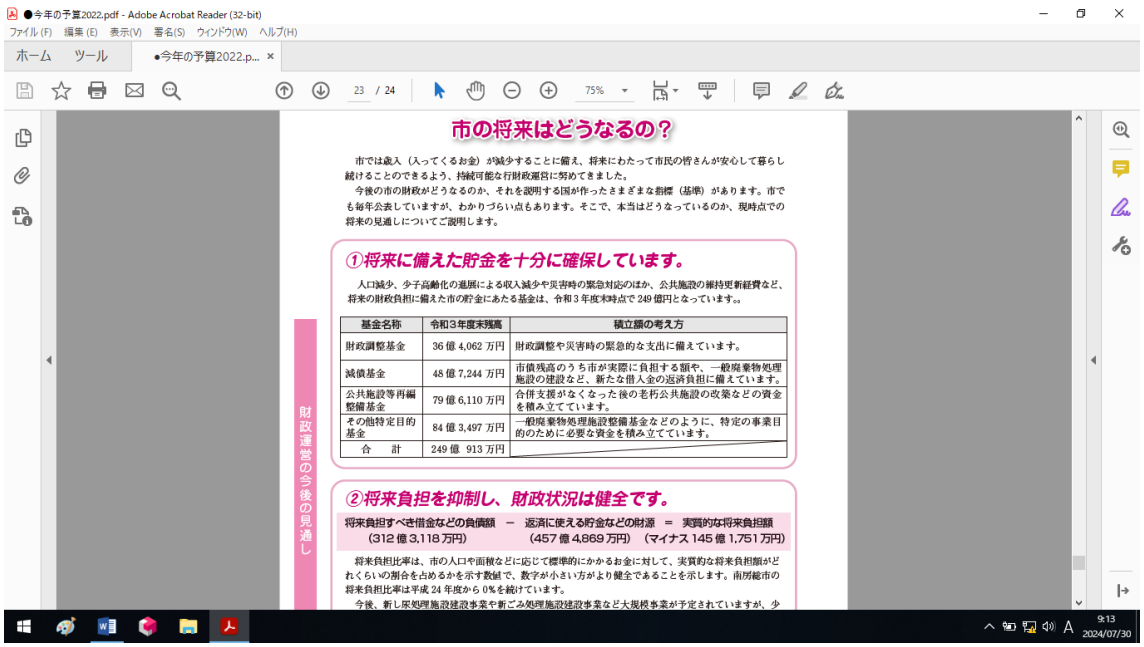
最後に本市の財政状況について簡単にご説明したいと思います。市が抱えている借金というのは、令和３年度の決算ベースで約２４０億円ありますが、実際には国から２３５億円は借金の財源はいただける約束になっておりまして、市が実際に純粋な負担として返済する金額は５億円で済むという内容になっています。これは、国の制度で将来的に国が返済の手当をしてくれるという有利な借金の制度を積極的に活用することによって、額面上は２４０億円の借金があっても市の負担は５億円であり、市の財政状況はかなり健全な状況にあると考えています。



市の貯金についてですが、貯金にも様々な種類があり、財政調整基金、減債基金、公共施

設等再編整備基金など将来の需要に備えた貯金を蓄えております。

令和３年度の決算の状況では、約２５０億円の貯金を蓄えており、これは今後、老朽化する公共インフラの改修や、様々な行政需要に対応するための貯蓄であり、将来の財政シュミレイションに沿って財源を蓄えています。



現状、南房総市は、借金に対して十分な貯金を有しており、市の財政運営は健全な状態にあると言って過言ではないと、市長として判断しております。

長くなりましたが、本市の本年度の取り組み、市の財政状況について説明させていただきました。

私からの説明は以上とさせていただきます。